



# 兵ト協ニュース

NEWS For HYOGO TRUCKING ASSOCIATION

2021.1 No.414



## 主な記事

- 年頭のご挨拶
- 令和2年度 安全性優良事業所近畿運輸局長・兵庫陸運部長表彰
- 「令和2年度 環境と物流を考えるフォーラム」を開催しました
- 「令和2年度 交通事故防止大会」を開催しました

## 主な同封物

- 運行管理者試験事前講習会のご案内
- 重さ・大きさが決まりを超える車両の運行には許可証が必要です!

# CONTENTS



**年頭のご挨拶** 2

## 事務局からのお知らせ

令和2年度 安全性優良事業所近畿運輸局長表彰 10

令和2年度 安全性優良事業所兵庫陸運部長表彰 11

「令和2年度 環境と物流を考えるフォーラム」を開催しました 12

「中小トラック運送事業者のためのIT活用セミナー」を開催しました 13

「令和2年度 交通事故防止大会」を開催しました 14

## 陸災防のページ

荷役作業安全ガイドライン講習会のご案内 15

はい作業主任者技能講習会のお知らせ 16

**会員だより** 20

## 適正化事業部からのお知らせ

巡回指導における指導事項(今月のテーマ「一般貨物自動車運送事業の譲渡譲受について」) 22

**協会日誌** 24

### 兵ト協会費免除について

新型コロナウイルス対策の支援として令和2年7月から令和3年3月まで9ヶ月間の会費を免除します。

よってこの間の会費請求書は発行しません。

# 謹賀新年

新春を迎えますますのご発展とご多幸を心からお祈り申し上げます  
本年もよろしくお願ひ申し上げます

— 令和三年元旦 —



## 一般社団法人 兵庫県トラック協会

会	長	福	永	征	秀
副	会	原	岡	謙	一
	”	櫻	井	光	男
	”	堀		秀	夫
	”	藤	原	康	雄
	”	尾	上	昌	史
	”	木	南	一	志
専	務	西	川	孝	秀
常	務	村	尾	芳	和
		役	職	員	一
					同



## 年 頭 の ご 挨拶

一般社団法人 兵庫県トラック協会  
会 長 福 永 征 秀

新年明けましておめでとうございます。

令和3年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員事業者の皆様はじめ関係各位におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年、新型コロナウイルスの広がりに伴い、緊急事態宣言の発令や医療体制の逼迫、東京五輪・パラリンピックの延期や各種イベントの中止など、日々の活動やこれまで通りの経済活動ができなくなり、私たちの生活に大きな影響を及ぼしました。

また、コロナ禍での県内の動向に目を向けますと、スーパーコンピュータ「富岳」の稼働は感染防止対策への活用に大きな期待を集め、PCR検査などの必要性から医療産業都市全体の存在感も高まりました。

一方、トラック運送業界におきましてもその影響は多大でありましたが、新型コロナウイルス感染拡大の中においても、国民生活に必要不可欠なエッセンシャル事業として、国民や荷主のニーズに応え、我が国の経済活動に大いに貢献してきたところです。

当協会においては、新型コロナウイルスの影響に対する会員事業者の支援施策として令和2年度の会費（令和2年7月から令和3年3月までの9ヶ月分）を免除したほか、感染症拡大防止対策用品等の購入に対する助成などを行っておりますが、感染収束が見えない中、継続した感染症対策等の推進に努める必要があると考えております。

このような状況の中、改正貨物自動車運送事業法により設けられた「標準的な運賃の告示制度」に基づき、令和2年4月24日、国土交通省から標準的な運賃の告示が行われました。

ドライバーの労働条件の改善、働き方改革を推進するためにもその効果が期待されるのですが、新型コロナウイルス感染拡大の余波を受けて荷主はもとより会員事業者ともに浸透していない状況にあり、今後、改正貨物自動車運送事業法の周知とともに「標準的な運賃」の浸透等による適正な運賃・料金収受の推進に取り組んでまいります。

また、これまで以上に、我が国の産業活動や国民の暮らしを支える基幹産業であることを自覚し、社会と共生し、その役割を果たしていくことが最重点課題であり、当協会としても働き方改革推進の諸対策はもちろんのこと、荷主や消費者から信頼される業界づくりのため、適正な運行

管理、労務管理の取り組み強化、貨物自動車運送事業安全性評価事業（Gマーク制度）の推進などの「適正化事業の推進」、交通安全思想の啓発やドライブレコーダ等の関連機器導入促進などの「安全対策」、地球環境への負荷の削減を図るため低公害車両の導入支援やエコドライブの普及促進などの「環境対策」に取り組むとともに、災害時における対策の充実や中小企業近代化対策も積極的に進めていく必要もあります。

当協会では、会員の皆様とともに、トラック運送業界が抱える多くの課題に着実に取り組み、将来にわたる運送業界の発展のため、一つずつ確実に解決し、社会から信頼される業界・協会づくりに一層取り組んでまいりたいと存じます。

そのためには、私どもが英知を結集し、業界の抱える諸課題に取り組むことは勿論、政治的な働きかけも視野に据えて、課題の解決に向けた行動を起こしてまいりたいと考えています。

つきましては、会員の皆様をはじめ、関係各位の一層のご支援、ご指導とご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆々様のご健康、ご多幸を心から祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。







## 年 頭 所 感

公益社団法人 全日本トラック協会  
会 長 坂 本 克 己

令和3年を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
昨年は、まさにコロナ禍に翻弄された1年でありました。人の命は尊いものであり、私どもとしても、この現実には厳粛に受け止めなければならないと思います。  
この状況の中で、わがトラック産業も大きな影響を受けました。経済の停滞・縮小の流れの中で、どのように事業を継続していくか、それぞれの事業者の方々が知恵を絞り、工夫を凝らし、努力してきた日々ではなかったかと思えます。

ただ、そのようなコロナ禍という厳しい状況下にあっても、社会からの期待に応え、国民生活のため、経済のために物流を止めないという強い思いを持ち、そしてトラック事業への誇りと自負を持ってがんばってこられた各事業者の皆様方に敬意を、そして現場で努力しておられるドライバーの皆様方に感謝を表したいと思えます。

引き続き、厳しい苦境に直面しておられる事業者の皆様が、様々な支援措置を活用しながら経営を持続できるよう、国交省をはじめとした関係省庁の皆様のお力を頂戴しながら努力してまいります。

我が国の物流を守り続けていくためには、「悪貨が良貨を駆逐する」ようなことのないよう、悪質な事業者を排除するとともに、悪質な荷主が適切に指導され、真面目な事業者が社会において正当な評価を受けて、事業継続できるようにしていかなければなりません。そのためには、先般、関係者の皆様のご支援のおかげで成立をみた改正貨物自動車運送事業法への取り組みを今こそ促進していく必要があります。

「標準的な運賃」をはじめ、「荷主対策の深度化」や「規制の適正化」といった取り組みを着実に進めていき、ドライバーの労働環境改善の原資となる運賃・料金を適正に収受していくことなどを通じて、当業界を取り巻く様々な課題を解消させていかなければなりません。

また、運送事業者の高速道路利用を推進していくことが必要です。

このことは、安全・安心な交通環境の実現に繋がり、また、周辺地域の環境に優しい輸送が実現できるとともに、ドライバーの拘束時間短縮など働き方改革の実現にも貢献できます。

そして、これを実現させるためには、運送事業者にとって利用しやすい道路ネットワークの推進が必要不可欠です。

全ト協では、「道路こそ運送事業者の生命線」と捉え、「重要物流道路」をはじめとする高速道路等の整備推進や、ミッシングリンクの解消、SA・PAおよび休憩・休息施設や中継物流拠点の整備など、運送事業者の皆様にとって利用しやすい高速道路料金のあり方の実現に向けて尽力してまいりたいと考えております。

また、運送事業者にとって使いやすい道路にしていくためには、高速道路料金のあり方等についてリーズナブルコストの構築を考えることが必要だと思えます。今後とも、国土交通省などに対し引き続き強力で働きかけを続けてまいります。

令和3年を迎え、気持ちを新たに業界のさらなる健全化に果敢に取り組んでまいりますことをお誓い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



兵 庫 県 知 事  
井 戸 敏 三

## 危機を乗り越え、ポストコロナの新時代に挑む

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスとの戦いの年でした。しかし、未だ終息にはほど遠い状況です。

一方、コロナ禍は社会を変革する契機ともなりました。県民とともにこの危機を乗り越え、地域創生やデジタル化に力強く取り組み、ポストコロナ社会を先導する活力あふれる兵庫をめざします。令和3年は本格的に歩みを進める年とします。

第1は、新型コロナ対策の充実。自宅療養ゼロを堅持しつつ、入院病床や宿泊療養施設を十分に確保します。マスク着用の徹底、検温の実施、外出抑制、感染リスクの高い施設の利用を控えるなど、家庭、職場、施設へウイルスを持ち込まない地道な取組が何より大切です。一人ひとりの行動が大切な家族や友人、仲間の命を守ることに繋がります。是非、ご協力をお願いします。

第2は、兵庫の元気回復。経済の下支えを図りつつ、スタートアップ拠点を活用した起業・創業の支援、新たなサプライチェーンの構築を後押しします。兵庫と東京を専用回線で結び、情報ネットワークにより東京圏からの企業誘致も促進します。農林水産業のスマート化も急務です。“都市部から地方へ”の潮流を捉え、兵庫への呼び込みを図ります。

第3は、安全安心の基盤強化。コロナ禍でも自然災害は待ってくれません。地震・風水害に備える安全な県土づくりを進めます。県民が安心して暮らせる福祉の充実も強化します。

第4は、ポストコロナも見据えた兵庫の未来づくり。「2030年の展望」を具体化する取組を進めるとともに、2050年頃を目標年次とする新ビジョンの策定に向けた検討を加速させます。

我々は、戦災、様々な自然災害など、幾度もの危機を乗り越えてきました。阪神・淡路大震災もそうでした。

再び、県民の叡智を結集して、兵庫の新時代をともに築き上げるため、挑戦していこうではありませんか。

**コロナ禍を乗り越えていく 県民のひたむきな歩み 夢をめざして**



## 令和3年 年頭の辞

神戸運輸監理部 兵庫陸運部長 池田 博美

### はじめに

新年明けましておめでとうございます。令和3年丑年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大により4月7日政府より緊急事態宣言が発せられ、5月25日には解除となりましたが、自粛による経済へのダメージは大きく、人々の生活様式も一変させることとなりました。

今なお、感染について予断を許さない状況であり、皆様におかれましても、感染予防に留意されつつ、エッセンシャルサービスを提供し、国民生活の維持にご尽力いただいていますことに心より敬意を表します。

一方、地震・台風などによる甚大な被害は、幸い近畿地方特に兵庫県は免れましたが、今後予想される南海トラフ地震への備えは必須です。昨年も11月5日「世界津波の日」には兵庫県の海岸線に面した市町を中心に約37万人を対象とした一斉避難訓練が実施されました、日ごろからハザードマップを確認するなどさらなる防災意識の向上と地域、職場での防災・減災対策が重要であると強く認識しているところです。

今年に目をむけますと、延期となった東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されています、そして2025年には大阪万博開催が決定しております。

兵庫陸運部といたしましては、これらを踏まえ、新型コロナウイルスに対しては、正しく恐れ3密を避けるなどの「新しい生活様式への取組」とこれまで取り組んでいる安全・安心を念頭におき、関西のさらなる飛躍・活性化にも寄与してまいりたいと考えております。

### トラック事業について

昨年4月に労働条件の改善、事業の健全な運営の確保を図るための「標準的な運賃」を告示したところです。これはトラックドライバーの労働条件を改善するとともに、法令を遵守したトラック運送事業者の皆さまが健全な経営を確保し、事業運営を行う水準となるものであります。

引き続きこの「標準的な運賃の告示制度」の趣旨を荷主の皆様方を含め、積極的に周知するとともに、「ホワイト物流推進運動」の周知、昨年5月に公表された「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けた輸送品目別ガイドライン」の業界での横展開を図ってまいります。

また、人材の確保につきましては、「働きやすい職場認証制度」により、長時間労働の是正等に積極的に取り組む事業者の「見える化」を図り、業界のイメージアップ等、人材確保に向けた取り組みをしっかりと進めてまいります。



## 事業用自動車の安全・安心の確保について

交通の安全を確保し、安心して利用していただくことは、運輸行政の根幹であり、そのために最大限の努力をおこなうことは我々の使命です。事業用自動車の事故等削減目標としている「事業用自動車総合安全プラン2020」は、本年より次期プランへの移行が計画されており、新プランは「業態別に目標設定」、「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う新しい生活様式を考慮した取組」、「2021年の東京オリンピック・パラリンピックそして2025年の大阪万博を控え、世界一安全な輸送サービスの提供の実現」をスローガンとして掲げたものになる予定です。

自動車運送事業者に対する監査、指導につきましては輸送の安全確保に支障を及ぼすおそれのある重要な法令違反の疑いがある事業者及び悪質違反、重大事故を引き起こした事業者に対し、優先的に立ち入り監査を実施するなど監査体制の強化を図り、指導や厳正な処分を行ってまいります。

また、関係省庁や関係機関との連携を強化しつつ、街頭監査の実施やより効果的な監査を実施するとともに、運送事業の安全・安心の確保のため、各事業者における運輸安全マネジメントによる安全管理体制の確立など更なる推進に努めてまいります。

## 自動車の安全性確保と環境保全、ユーザーの利便性向上について

我が国の自動車保有台数は、令和2年3月末現在で約8,184万台となり、兵庫県においては約303万台を超えと全国で9番目の保有台数となっており、経済活動、日常生活においてなくてはならない存在となっています。

交通事故の発生状況は、令和元年の交通事故死者数が3,215名と統計を取り始めた昭和23年以来最も少ない数字となったところですが、一方、高齢運転者による交通死亡事故は増加し、中でも、ブレーキ・アクセルペダルの踏み間違い事故が65歳以上で全体の約8割となっており、高齢運転者の操作ミスによる交通事故防止に向けた取り組みが重要となっていますが、これに対しては、先進安全装置を搭載した「安全運転サポート車」(サポカー)の普及促進、自動車アセスメントのPR、先進安全自動車(ASV)の導入に対する支援(補助金申請)対応などさらなる取り組みを進めてまいります。

## おわりに

以上、新しい年を迎え、所信を申し上げましたが、関係団体、関係行政機関の皆様方には、当陸運部の業務になお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、今年一年の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。





## 安全・安心・快適な交通社会の実現を目指して

兵庫県警察本部交通部長 矢野 浩 司

新年明けましておめでとうございます。

御家族ともども穏やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には、トラックを用いた交通安全教室や、各種キャンペーン等の交通安全活動をはじめ、警察業務の各般にわたり深い御理解と温かい御支援を賜っておりますことにつきまして、厚く御礼申し上げます。

また、コロナ禍においても物流事業の中心的役割を果たし、「安全で安心な輸送サービス」を日々提供していただいていることに対し、心から感謝申し上げます。

さて、県内における昨年中の交通事故情勢ではありますが、交通事故件数、死傷者数ともに減少しているものの、昼夜を問わず人対車両の交通死亡事故などが相次いで発生するなど、昨年11月末現在で92人の方が亡くなっております。

事故の特徴といたしましては、交通事故死者数の半数以上を65歳以上の高齢者の方が占めているほか、横断歩道で歩行者が犠牲となる交通事故が、後を絶ちません。

日本自動車連盟では「信号機のない横断歩道における一時停止率」の調査結果を毎年公表していますが、兵庫県は一昨年の43.2%から全国で2番目となる57.1%と前年より、13.9ポイント上昇し、全国平均の21.3%を大きく上回る結果となりました。

これは、交通取締りを強化してきたことに加え、皆様方の日頃の啓発活動の賜物であると感謝する次第であります。

しかしながら、歩行者優先を守っていないドライバーが半数近くいるという事実もありますので、県警察では、三田警察署、小野警察署をモデル警察署に指定し、「横断歩道合図運動」と銘打って、歩行者が横断歩道を横断する際、手を挙げてさらにドライバーにアイコンタクトをすることにより、横断する意思表示をして、ドライバーに歩行者優先意識を高めていただき、歩行者が横断歩道を安全に横断できるような取組を実施しているところであります。

交通事故を防止するためにはドライバーや歩行者など、すべての人に安全意識を持っていただく必要があることから、高齢者や子供さんに参加していただく交通安全教室や、県警察公式SNS等を活用して、交通安全に関する動画を投稿し、情報発信することでより一層「横断歩道は歩行者優先」の周知を図る啓発活動をするとともに、交通取締りに取り組んでまいります。

さらに、県警察といたしましては、昨年の事故発生状況を踏まえ、いまだに後を絶たない飲酒運転に対する取締り、全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用の徹底、悪質・危険な自転車運転者の指導取締り、さらには「あおり運転」等への諸対策を推進してまいります。

皆様方には、プロドライバーとして、他の模範となる運転に努めていただくなど、「安全・安心・快適な交通社会の実現」に向けた、なお一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本年が皆様方にとりまして幸多き年になりますことを心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



## 年 頭 所 感

兵庫労働局長 荒 木 祥 一

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人兵庫県トラック協会並びに会員の皆様方におかれましては、心穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、労働行政の推進につきまして、平素から多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、景気については、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、個人消費は持ち直しの兆しがみられ、輸出、生産の減少も下げ止まりつつあるなど、足下では持ち直しの動きがみられています。一方で県内の雇用情勢は、有効求人倍率が依然として1倍を下回っており、引き続き新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に注意する必要があります。

このような情勢の下、兵庫労働局におきましては、ウィズ・ポストコロナ時代における「新しい働き方」の課題に対応するとともに、若者、女性、高齢者、障害のある方等、全ての方々が意欲と能力を十分に発揮し、安心して暮らすことのできる社会の実現に向けて、魅力ある職場・働きやすい職場づくりを積極的に進めてまいります。

労働災害防止対策については、「兵庫リスク低減MS運動」を推進し、兵庫第13次労働災害防止推進5か年計画に基づいて、「許容できないリスクがない職場づくり」を目指し、死亡・重篤災害撲滅に向けた重点的な指導等を実施してまいります。また、労働者の健康確保を目的とする労働衛生関係法令が改正され、解体・改修工事における石綿ばく露防止対策の強化については昨年10月より、アーク溶接時に発生する溶接ヒューム等の作業管理・健康管理等の新設、放射線業務従事者の眼の水晶体に受ける等価線量の限度の引き下げ等については本年4月よりそれぞれ段階的に施行されるため、これらが円滑に施行されるよう関係機関等と連携して周知徹底を図ってまいります。

さらに、職場におけるメンタルヘルス対策の推進、治療と仕事の両立支援、石綿や化学物質等有害物による健康障害防止対策の推進にも取り組んでまいります。

陸上貨物運送事業における労働災害発生状況においては、令和元年に3年ぶりに減少に転じましたが、昨年は増加傾向にあり、死亡災害については交通事故が2人、はさまれ・巻き込まれ災害が1人発生しております。また、休業災害では、トラックの荷台からの墜落・転落をはじめ、転倒や腰痛などが多発しており、全体の5割以上を占めています。

これら労働災害の防止をはじめとする諸施策の推進に当たっては、貴協会のご理解とご協力を切にお願いする次第でありますので、引き続き労働行政へのご支援をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、貴協会並びに会員の皆様方の益々のご健勝と、本年が明るい年となりますことを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 事務局からのお知らせ

ご受賞おめでとうございます。

### 《令和2年度 安全性優良事業所近畿運輸局長表彰》

貨物自動車の輸送の安全について長期間に渡って荷主や社会に対し多大な貢献をし、安全対策等について顕著な功績が認められた事業所が表彰されました。兵庫陸運部長表彰を受賞、安全性優良事業所（Gマーク）認定を10年間以上継続、デジタコもしくはドライブレコーダーを装着している等の認定条件を達成した、事業所として当協会から下記のとおり13事業所が受賞し、11月25日に大阪合同庁舎第4号館で表彰を受けられました。

令和2年度 安全性優良事業所 (Gマーク) 近畿運輸局長表彰	栄進急送株式会社 本社営業所
	全日本ライン株式会社 神戸営業所
	日正運輸株式会社 神戸営業所
	神戸三興物流株式会社 本社営業所
	加西合同貨物自動車株式会社 本社営業所
	塩谷運輸建設株式会社 本社営業所
	佃運輸株式会社 加古川営業所
	大阪いづみ運輸株式会社 姫路営業所
	関栄運輸株式会社 本社営業所
	株式会社つばめ急便 姫路営業所
	福島運輸株式会社 本社営業所
	株式会社三陸 本社
	株式会社ショーゼン 本社営業所





## 《令和2年度安全性優良事業所兵庫陸運部長表彰》

貨物自動車の輸送の安全について長期間に渡って荷主や社会に対し多大な貢献をし、安全対策等について顕著な功績が認められた事業所が表彰されました。認定条件は安全性優良事業所(Gマーク)認定を10年間以上継続し、デジタコもしくはドライブレコーダーを配置車両の90%以上に装着している等条件を達成した事業所で当協会から下記のとおり10事業所が受賞し、12月2日に神戸運輸監理部兵庫陸運部で表彰を受けられました。

令和2年度 安全性優良事業所 (Gマーク) 兵庫陸運部長表彰	エービーカーゴ西日本株式会社 西宮営業所
	有馬運輸株式会社 本社営業所
	平野エクスプレス株式会社 本社営業所
	株式会社日笠運送 本社営業所
	株式会社ISC 本社営業所
	河野トラック株式会社 本社
	株式会社龍野塩回送店 本社営業所
	株式会社丸鹿 本社営業所
	有限会社丸福物流サービス 本社営業所
	株式会社日高興産運輸 本社営業所



## 「令和2年度 環境と物流を考えるフォーラム」を開催しました

11月26日（木）、兵庫県トラック総合会館において「環境と物流を考えるフォーラム」を開催し、物流関係者、運送事業者、一般市民等 49名が参加されました。

トラック運送事業が社会に果たしている役割やその重要性、また、兵庫県トラック業界及び会員事業者の環境改善への取り組み、「社会との共生」を目指した交通事故防止対策などについて一般市民等へ周知するとともに、中小企業診断士からSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みについて、また、流通科学大学教授からは、新型コロナウイルス感染症対策と危機管理（BCP）についてご講演いただきました。（※ 兵ト協HPにて講演Ⅰ・Ⅱ及び対談の動画をご覧いただけます。）

（敬称は略させていただきます）

- 講演Ⅰ：「SDGs（持続可能な開発目標）に取り組んでますか？」  
（一社）兵庫県中小企業診断士協会 中小企業診断士 板垣 大介
- 講演Ⅱ：「コロナと物流 ～中小トラック事業者のための  
新型コロナウイルス感染症対策と危機管理～」  
流通科学大学 商学部教授 森 隆行
- 講師と事業者の対談：コロナ対策等について考える
  - ・ 講師 師： 森 隆行（流通科学大学 商学部教授）
  - ・ 事業者代表対談者： 堀 秀夫（兵ト協 環境対策委員長）
  - ・ コーディネーター： 椿本 和生（兵ト協 環境対策副委員長）



兵ト協会長 福永 征秀



近畿運輸局 自動車交通部 次長 藤原 幸嗣



板垣 大介



森 隆行



講師と事業者の対談



兵ト協副会長 堀 秀夫

## 「中小トラック運送事業者のためのIT活用セミナー」 を開催しました

12月1日（火）、兵庫県トラック総合会館において近代経営システム研究所 代表 森高 弘純氏を講師にお迎えし、（公社）全日本トラック協会と共催で生産性向上のための情報化支援セミナーとして「中小トラック運送事業者のためのIT活用セミナー」を開催しました。

会員事業者27名の方が参加され、講師からは、中小トラック運送事業者が業務の効率化・生産性の向上を図れるよう、IT機器のシステム概要・費用・期間、成功のポイント、導入の留意点など具体的に分かりやすく講義いただきました。

（敬称は略させていただきます）

- 【研修内容】
- ・ ITの活用方法（活用のメリット、効果的なシステムの策定）
  - ・ 生産性向上に向けたIT機器及びシステムの活用事例の紹介
  - ・ 全ト協車両原価計算シートの活用
  - ・ 中小トラック事業者の情報セキュリティ対策
  - ・ 質疑応答

【講師】 近代経営システム研究所 代表 森高 弘純



## 「令和2年度 交通事故防止大会」を開催しました

令和2年12月4日（金）事故防止対策の大きな目標である「総合安全プラン2020」の達成と、年末・年始の輸送繁忙期に予想される交通事故をなくすことを目的に「令和2年度 交通事故防止大会」を開催しました。

福永会長の開会挨拶の後、来賓として神戸運輸監理部兵庫陸運部長から挨拶があり、兵庫県警察本部から「県下の交通事故情勢について」、神戸運輸監理部兵庫陸運部から「交通事故防止に係る最近の運輸行政の動きについて」、JAF兵庫支部から「事故防止対策（事例研究）について」の講演がされました。

大会の最後には、田正司青年部協議会会長が下欄の大会宣言を読み上げ、満場の拍手で採択されました。

（敬称は略させていただきます）

開催日 令和2年12月4日（金）  
 場 所 兵庫県トラック総合会館 3階 大会議室  
 参加者 50名  
 内 容

- ・ 講演「県下の交通事故情勢について」  
 講師：兵庫県警察本部 交通部 交通企画課 警部 梶野宏和
- ・ 講演「交通事故防止に係る最近の運輸行政の動きについて」  
 講師：神戸運輸監理部 兵庫陸運部 整備部門 陸運技術専門官 佐藤光一
- ・ 講演「事故防止対策（事例研究）について」  
 講師：JAF 兵庫支部 ロードサービス隊 主管 山本浩昭
- ・ 大会宣言採択

### 大会宣言

- ・ 追突事故を防止するため、過労運転の防止、適正な車間距離の確保、制限速度の遵守を徹底します。
- ・ 交差点での事故を防止するため、右左折時の安全確認を徹底します。
- ・ 夕暮れ時における早めライト点灯と雨天・曇天時の点灯を行います。
- ・ 信号のない横断歩道で歩行者や自転車をみかけたら、渡りきるまで停止します。
- ・ 飲酒運転、あおり運転など悪質で危険な運転を根絶します。



兵ト協会長 福永征秀



神戸運輸監理部 兵庫陸運部長 池田博美



兵ト協副会長 藤原康雄



青年部会長 田正司知祐





問い合わせ先

陸運労災防止協会 兵庫県支部  
(兵庫県トラック協会内)  
電話 078-882-5556

## 荷役作業安全ガイドライン講習会のご案内

陸上貨物運送事業の労働災害の70%は、トラックの荷台等からの墜落・転落等の荷役作業中に発生しています。さらにその70%は荷主等（荷主、配送先、元請事業者等）の事業場で発生しています。このため、厚生労働省では平成25年3月に「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」（以下、「荷役ガイドライン」といいます。）を策定し、陸運事業者の実施事項、荷主等の実施事項を示しました。本年度は、この荷役ガイドライン周知を目的とした講習会を下記日程により行います。

この講習会は、荷主等の自社の労働者の労働災害防止対策にも参考となる墜落・転落災害、フォークリフト、クレーン、ロールボックスパレット等による災害防止に関する内容も含まれています。荷主等の企業の皆様には積極的なご参加をお待ちしています。

### ～講習会の主な内容～

- 1 開催日時 令和3年1月22日(金) 13:30～16:30
- 2 開催場所 兵庫県トラック総合会館 3階会議室（電話078-882-5556）  
（住所：神戸市灘区大石東町2丁目4番27号）
- 3 講習会の内容
  - (1) 貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律について（兵庫陸運部担当官）
  - (2) 荷役災害における労働災害の現状と荷主に求められる役割（兵庫労働局担当官）
  - (3) 荷役作業安全ガイドライン（陸災防安全管理士）
  - (4) 質疑応答、アンケート記入
- 4 定員 約30名程度（先着順です。）  
※新型コロナウイルス感染症予防対策として人数制限しています。
- 5 参加費及びテキスト代 無料
- 6 参加申込み  
参加申込は、下記参加申込書にご記入し、陸災防兵庫県支部までファックスでお申し込みください（受講票等は送付いたしません。）
- 7 修了したことを証する書面  
本講習会を受講された方には、修了したことを証する書面をお渡しします。



陸災防兵庫県支部 FAX 078-882-5565

### 荷主等事業場の荷役災害防止担当者安全衛生教育講習会参加申込書

参加者氏名	①	②
事業場名	(業種: )	
住所	〒	
電話番号	TEL	
ご担当者氏名	ご担当者	

参加申込書にご記入いただいた情報は、本説明会以外には使用いたしません。

## はい作業主任者技能講習会のお知らせ

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 兵庫県支部

「はい」とは、荷の保管、仮置、検数、薰蒸などを行うために倉庫、上屋または土場に積み重ねられた荷（小麦、大豆、鉱石等のばら物を除く）の集団をいいます。

高さが2メートル以上の「はい」作業（荷役機械の運転者のみによって行われるものを除く）を行っている事業場では労働安全衛生法第14条によるはい作業主任者の資格を取得させ、そのうちから「はい作業主任者」を選任して作業をしなければなりません。

### 1. 講習日時・会場 注：当日は8時45分より受け付けします。

講習日時	1日目	2021年2月18日(木) 9時～17時(座学講習)
	2日目	2021年2月19日(金) 9時～17時(座学講習、修了試験)
講習会場	兵庫県トラック総合会館 3階会議室 神戸市灘区大石東町2丁目4-27 <u>※受講者の為の駐車場はありません。</u>	

### 2. 受講料

	受講料	テキスト代	合計
兵ト協会員	7,700円 (内消費税10% 700円)	無料 (陸災防兵庫支部負担)	7,700円 (内消費税10% 700円)
非会員	7,700円 (内消費税10% 700円)	1,650円 (内消費税10% 150円)	9,350円 (内消費税10% 850円)

### 3. 受講資格

「はい」付け又は「はい」くずしの作業に3年以上従事した経験を有する方。

※ 受講申込書に実務経験証明書が付随しています。証明者の職氏名(事業場の代表又は責任者の方)の記入及び、押印(丸印)が必要です。(角印は認められません。)

### 4. 申込要領

- (1) 陸運労災防止協会兵庫県支部事務局へ定員枠の空き状況を電話で確認し、必ず予約受付を行ってから次の①～④を現金書留で次の申込先に郵送して下さい。

予約受付 及び申込書受付期間

2021年1月7日(木)～2021年2月10日(水) 必着

ただし、期間にかかわらず定員に達し次第締め切ります。

(定員に空きがあれば、前日まで受付可能ですので、お問合せ下さい。)

- ① 受講申込書 (A4サイズにコピーまたは、切り取ってご使用して下さい)  
 ② 証明写真2枚 (サイズ縦3.6～4cm、横2.4～3cm)

※ 合格された場合の修了証に使用します。スキャナーで画像処理しプラスチックカードにカラー印字いたしますので、スナップ写真、カラーコピー等画像の不鮮明なものは使用できません。

証明写真2枚の内うち1枚は、①の受講申込書に貼り付けて下さい。

※ 写真の裏に氏名を記入して下さい。

③ 運転免許証の写し（住所変更している場合は、裏面必要）

④ 受講料

納入された受講料等は、受講票を発行した以後は、一切返金いたしません。

受講票は、申込後約1週間程度で所属事業場宛てに郵送いたします。

（申込先）

〒657-0043 神戸市灘区大石東町2丁目4-27 兵庫県トラック協会内  
陸運労災防止協会兵庫県支部  
電話 (078) 882-5556

※ 持参される場合の受付時間は、10時～17時（12時～13時は除く）。

## 5. 持参品

受講票・筆記具（えんぴつ・消しゴム・ボールペン）

## 6. 修了証

法定の講習時間を受講し、修了試験に合格した方には、後日、修了証を郵送いたします。

2日のうち1日でも欠席の場合は不合格となります。

## 7. 留意事項

修了試験において不合格となり基準点以上であった場合、追試験を1回のみ受験することができます。

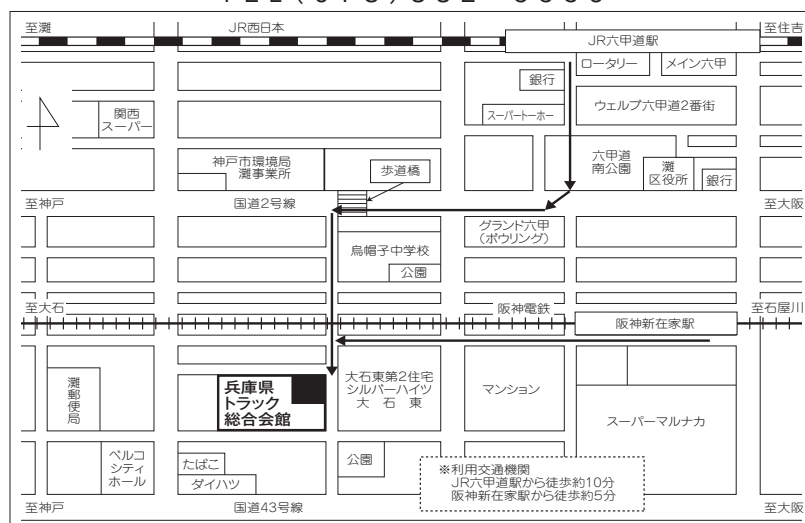
追試験を希望される場合は、受験料2,200円（税込）が必要となりますのでご留意下さい。

受講者の為の駐車場はありませんので、公共交通機関の利用をお願いします。

## はい作業主任者技能講習会場 兵庫県トラック総合会館

神戸市灘区大石東町2丁目4番27号

TEL(078)882-5556



# はい作業主任者技能講習会

受講申込書

修了証台帳

写真貼付し  
て下さい。  
縦3.5 c m  
横2.5 c m

ふりがな		性別		※
氏名		男 ・ 女	修了証 番号	
生年月日	年 月 日生	交付年月日		※
現住所 (修了証に載ります)	〒  電話 (携帯電話)			
勤務先	所在地	〒  電話 F A X		
	名称			

本人確認 ※		
--------	--	--

証 明 書			
受講者氏名 _____ ㊟			
上記の者は、はい付け又ははいくずしの作業に _____ 年 _____ 月から _____ 年 _____ 月まで 3年以上従事した経験を有する者であることを証明します。			
年 月 日			
事業者名 _____			
事業者 _____ ㊟			
書替・再交付年月日	※ 年 月 日	本人確認書類 ※	

(注) ※以外は申込者において全部記載すること。

ご記入いただいた個人情報は、当講習会の実施及び修了証交付の為にのみ使用します。



## 燃 料 価 格 情 報

軽油「元売別」購入価格表（令和2年11月末現在）

（単位：円/ℓ）

元売名	区分	ローリー	組 合	カ ー ド	スタン
		平 均	平 均	平 均	平 均
J X T G		82.24	84.20	87.83	100.64
出 光		77.57	84.06	87.53	
コ ス モ		78.76	81.97	85.50	
三 井		78.70			
そ の 他		78.20	79.93	87.60	95.40
総 計		79.38	81.75	87.60	97.15
2 / 10	全国平均	79.73	調査なし	89.16	90.20
	近畿平均	79.02		85.56	88.65

兵ト協  
調 べ

全ト協  
調 べ

（消費税抜き）

軽油価格年間推移表（兵ト協調べ）

（単位：円/ℓ）

集計月	区分	ローリー	組 合	カ ー ド	スタン
		平 均	平 均	平 均	平 均
令和元年12月		95.90	98.41	101.94	107.14
令和2年1月		97.41	101.14	105.10	107.88
令和2年2月		99.41	103.08	106.42	111.12
令和2年3月		93.94	98.07	102.21	108.29
令和2年4月		82.54	91.03	91.42	97.97
令和2年5月		72.08	74.79	78.70	90.31
令和2年6月		66.90	69.74	75.35	81.70
令和2年7月		73.95	77.00	82.04	89.69
令和2年8月		77.92	80.61	84.85	91.77
令和2年9月		81.11	84.59	89.38	96.33
令和2年10月		81.63	84.61	90.32	93.70
令和2年11月		80.19	82.74	88.15	93.10
令和2年12月		79.38	81.75	87.60	97.15
年 間 平 均		83.33	86.80	91.22	97.37

※前月分の価格データを集計しています。

（消費税抜き）

**“軽油は兵庫県下で買いましょう”**

# 会 員 だ よ り

## 入会届

入会年月日	支部名	種別	会社名	代表者名	主たる連絡先	
2.11.26	丹有	一般	エヌエスライン(株)	那 須 敏 広	〒669-2142 丹波篠山市今田町東庄5-1	TEL 079-597-2400 FAX 079-597-2402
11.30	明石	一般 利用	今村運送(株)	古 山 彰 一	〒675-1112 加古郡稲美町六分一1354-3	TEL 079-490-2313 FAX 079-490-2314
11.30	西神戸	一般	(有)立協商店	堀 川 博 子	〒653-0033 神戸市長田区苅藻島町1-1-51	TEL 078-682-9122 FAX 078-682-9121
12.3	東神戸	一般 利用	(株)ジー・ジェイ・エクスプレス	福 山 正 治	〒658-0033 神戸市東灘区向洋町西6-6 (株)朝日通商内	TEL 078-856-7732 FAX 078-856-7742
12.7	西宮	一般 利用	(株)パートラム	岩 本 浩	〒663-8245 西宮市津門呉羽町2-33 4階	TEL 0798-32-0057 FAX 050-3512-2273

## 退会届

退会年月日	支部名	種別	会社名	代表者名
2.11.30	北播	一般	(株)清 水 環 境 産 業	足 立 昌 義
12.31	明石	一般	(株) ツ イ ン ズ	田 中 透



『ご協力ありがとうございました』

交通遺児の募金を寄せられた会員

R 2・12・17 ワールドライン株式会社 6,000円

### 交通遺児募金の郵便振替口座

- 座 番 号            01170-6-54803
- 座 名                一般社団法人 兵庫県トラック協会募金係



つづけていこうよ、明日のために...

## エコドライブ推進中!

(一社)兵庫県トラック協会

## 兵ト協ニュース表紙写真募集について

### ■応募資格

(一社)兵庫県トラック協会会員事業者及びその従業員の家族。

### ■募集内容

●兵庫県の風景(季節感の溢れたもの)、建築物、動植物等の写真(いずれも写真の中に特定できる人物が写っていない)。

### ■応募方法

●会社名・氏名(ふりがな)・会社電話番号を明記した電子データ(CD-Rなど)で提供してください。

●撮影場所がわかるようにしてください。例:竹田城跡(朝来市)

### ■その他

●応募作品は未発表のものに限ります。

●採用する場合は表紙に撮影者の氏名と会社名を記載します。

●採用した方には粗品をさしあげます(クオカード)。

なお、応募作品は返却いたしません。

※ご応募いただいた作品の著作権ならびに所有権は(一社)兵庫県トラック協会に帰属し、返却はいたしません。

採用者に事前に通知しませんが、粗品の発送をもってかえさせていただきます。

ご応募いただいた個人情報につきましては、採用通知、粗品送付の目的にのみ使用いたします。

### ■応募宛先

〒657-0043神戸市灘区大石東町2丁目4番27号

(一社)兵庫県トラック協会総務部行

E-mail:hta@hyotokyo.or.jp

————— \* ————— \* —————

## 事務局からのお知らせ

下記のとおり新規採用者、退職者がありますのでお知らせいたします。

### 人 事 異 動

令和2年12月1日付

発令事項	氏名	現職
総務部係員	熊崎麗奈	新規採用

令和2年12月31日付

発令事項	氏名	現職
退職	角田玲子	総務部次長





## 事業開始に要する資金及び調達方法

## 1. 事業開始に要する資金

項	目	金 額	明 細	
人	件 費	12,902,912		
人	役 員 報 酬	1,500,000	月額 250,000 円×6ヶ月分 (運転者兼任)	①
	給 与	8,700,000		
	運 転 者	6,000,000	5 人×月額 250,000 円×6ヶ月分	②
	運 行 管 理 者	0	1 人×月額 0 円×6ヶ月分 (運転者兼任)	
	整 備 管 理 者	1,500,000	1 人×月額 250,000 円×6ヶ月分	
	事 務 員	1,200,000	1 人×月額 200,000 円×6ヶ月分	
	そ の 他	0	0 人×月額 0 円×6ヶ月分	
	手 当	0		③
	運 転 者	0	1 人×月額 0 円×6ヶ月分	
	運 行 管 理 者	0	1 人×月額 0 円×6ヶ月分	
	整 備 管 理 者	0	1 人×月額 0 円×6ヶ月分	
事 務 員	0	1 人×月額 0 円×6ヶ月分		
賞 与	725,000	給与月額×1回給与の 1ヶ月分×支給回数 1回×1/2	④	
法 定 福 利 費	1,789,412			
健 康 保 険 料	648,399	(役員報酬+給与+手当)×事業主負担率 59.35 / 1000 + 賞与×事業主負担率 59.35 / 1000		
厚生年金保険料	999,638	(役員報酬+給与+手当)×事業主負担率 91.50 / 1000 + 賞与×事業主負担率 91.50 / 1000		
雇 用 保 険 料	56,550	(給与+手当+賞与)×事業主負担率 6.00 / 1000		
労 災 保 険 料	84,825	(給与+手当+賞与)×事業主負担率 9.00 / 1000		
厚 生 福 利 費	188,500	給与、手当、賞与の2%を見込む		
燃 料 費	4,000,000	月間総走行キロ 20,000 km ÷ 〇当たり走行キロ 3.0 km × 〇当たり単価 100 円×6ヶ月分		
油 脂 費	120,000	燃料費3%を見込む		
修 繕 費	修 繕 費	1,200,000		⑤
	外 注 修 繕 費	300,000	1両月額 10,000 円×6ヶ月分×5両	
	自家修繕費・部品費	300,000	1両月額 10,000 円×6ヶ月分×5両	
	タイヤチューブ費	600,000	月間 4 本使用×25,000 円×6ヶ月分	
車 両 費	購 入 費		分割の場合頭金及び1年分の割賦金。ただし、一括払いの場合は取得価格	⑥
	リ ー ス 料		リース料の1年分	
	施 設 購 入・使 用 料		土地、建物も購入費(分割の場合頭金及び1年分の割賦金。ただし、一括払いの場合は取得価格)又は賃借料の1年分	
什 器・備 品 費		取得価格	⑦	
施 設 賦 課 税	0	別掲(自動車税及び自動車重量税の1年分、環境性能割)		
保 険 料	0	別掲(自賠責保険、任意保険の1年分)		
登 録 免 許 税	0			
そ の 他			旅費、会議費、水道・光熱費、通信・運搬費	⑧
			図書・印刷費、広告宣伝費等の2ヶ月分	
合 計		18,222,912	事業開始に要する資金の合計	⑨
自 己 資 金 額		20,000,000	2. による自己資金の合計	

# 協会日誌

月日	行事名	場所	月日	行事名	場所
12・1	I T活用セミナー	兵ト協	1・18	三木会	兵ト協
2	関西広域連合応援訓練	兵ト協	19	全ト協 新年賀詞交歓会	パレスホテル東京
	運輸マネジメントセミナー	西研修会館	20	災害物流協議会	運輸局
	安全性優良事業所兵庫陸運部長表彰	兵庫陸運部	21	兵ト協 役員選考委員会	兵ト協
	全ト協 引越部会	全ト協		整備管理者選任後研修	兵ト協
3	整備管理者選任後研修(姫路)	姫路市文化センター		兵庫県交通安全対策委員会[教育・運転対策]合同部会	兵庫県民館
	全ト協 理事会	第一ホテル京東		兵庫県高速道路交通安全協議会 幹事会	兵庫県民館
4	交通事故防止大会	兵ト協	22	荷役作業安全ガイドライン 講習会	兵ト協
	KTS 正副会長会議	大とらふぐの阪会	28	近ト協 幹事会	大ト協
8	兵ト協正副会長と青年部会・女性部会との意見交換会	兵ト協		－2月の予定－	
	兵ト協 正副会長会議	兵ト協	2・1	過積載運行の根絶合同キャンペーン 横断幕の設置	山陽道・神戸区インター西5 第二神明道路・大久保インター
	兵青協 役員会 評議員会	兵ト協	2	適正化事業実施機関評議委員会	東急REIホテル
11	整備管理者選任後研修(神戸)	兵ト協	4	整備管理者選任後研修	姫路市文化センター
15	兵ト協 海コン部会 役員会	兵ト協	9	運行管理者試験事前講習	兵ト協
	高圧ガス大会「第4回実行委員」	兵庫県中央労働センター	10	運行管理者試験事前講習	兵ト協
16	整備管理者選任後研修(神戸)	兵ト協		全ト協 交通対策委員会	兵ト協
17	本部支部事務局長連絡会議、適正化指導員研修会	兵ト協	12	兵庫県交通安全対策委員会	兵庫県公館
23	兵庫県環境審議会大気環境部会	ラホセル	15	整備管理者選任後研修	兵ト協
	全ト協 道路関係連絡会議	全ト協	16	近ト協 理事会	ホテルグランヴィア大阪
	県警駐車緩和説明受け	県本部別警館		全ト協 労働安全・衛生委員会	全ト協
24	兵ト協 海コン部会 申入れ活動		17	兵ト協 海コン部会 役員会	兵ト協
	－1月の予定－			陸災防 近畿ブロック支部長・事務局長会議	大阪新急ホテル
1・7	全ト協 全国専務理事業務連絡会議	ウエステインホテル仙台		全ト協 第50回環境対策委員会	全ト協
	KTS 正副会長会議		18	はい作業主任者技能講習会(～19日)	兵ト協
12	兵ト協 新年祈願祭	生田神社	25	全ト協 経営改善・情報化委員会	全ト協
13	兵ト協 海コン部会 役員会	兵ト協	26	過積載運行の根絶合同キャンペーン	第二神明・石SA
17	ひょうご安全の日 1・17のつどい	HAT神戸		全国適正化部(課)長業務連絡会議	全ト協